

資料編

第 5 節 諮問・答申

1 諮問

企 第 154 号
平成28年6月27日

野々市市総合計画審議会
会 長 鹿田 正昭 様

野々市市長 粟 貴章

野々市市第一次総合計画基本構想の見直し
及び後期基本計画の策定について(諮問)

このことについて、野々市市総合計画審議会条例(平成24年3月21日条例第14号)第2条の規定に基づき、野々市市第一次総合計画における基本構想の見直し及び後期基本計画の策定について下記のとおり諮問します。

記

1 諮問内容

野々市市第一次総合計画基本構想の見直し及び後期基本計画の策定に関する審議

2 諮問理由

本市は、平成24年度から10年間を展望した野々市市第一次総合計画に基づき、基本構想に示す将来都市像の実現に向け、基本計画に掲げる各種施策を実施してまいりました。

この第一次総合計画は平成28年度をもって、計画策定から5箇年が経過し、中間年を迎えます。

この間、本市においては、市民の皆様をはじめ、企業、団体、高等教育機関の皆様との市民協働のまちづくりをはじめ、新たな図書館の建設や中央公民館の建て替え、土地区画整理事業、また、本市における「まち・ひと・しごと創生」に関する施策を総合的・計画的に実施してきたことにより、本市を取り巻く環境が大きく変化をしています。

このような状況を踏まえ、本市の新たなまちづくりの方向性を見出し、次なる5箇年に向けた計画を策定する必要があることから、「野々市市第一次総合計画基本構想の見直し及び後期基本計画の策定」をすることに関して、意見を求めます。



粟市長から鹿田会長へ諮問書が手渡されました



鹿田会長が答申書を読み上げられました

2 答申

平成28年11月1日

野々市市長 粟 貴章 様

野々市市総合計画審議会
会 長 鹿田 正昭

野々市市第一次総合計画基本構想の見直し 及び後期基本計画の策定について(答申)

平成28年6月27日付企第154号で諮問のありました、平成29年度に計画の中間年を迎える野々市市第一次総合計画の基本構想見直し及び後期基本計画策定について、人口の推移、意識調査、政策の進展状況をふまえ、本審議会において慎重かつ活発に審議した結果を別冊のとおりまとめましたので、下記のとおり本審議会の意見を付して答申します。

貴職におかれましては、この答申の内容に基づき、本計画を速やかに確定され、総合的かつ計画的な行財政運営を着実に実行されることを期待します。

記

- 1 野々市市の人口増加の状況をふまえ、目標年次である平成33年度の人口を58,000人に上方修正を行った。今後の高齢化率の推移と年齢構成に注視しながら、人口の増加に対応し、すべての市民が豊かに暮らせるまちづくりに取り組んでいただきたい。
- 2 野々市市第一次総合計画では、“ともに創る ともに育む”市民協働のまちづくりを推進し、その土台を築いてきた。まちづくりの主役である市民との協働の実践を積み重ね、さまざまな主体を野々市市のパートナーとし、市民のニーズに呼応した「市民協働のまちづくり」のさらなる発展に努めていただきたい。
- 3 我が国は、本格的な人口減少時代を迎えている。将来の人口減少や超高齢社会の到来に備え、子育てをしやすい環境の整備や健康寿命の延伸など、安心して子どもを産み育て、住み慣れた地域で健康に暮らし続けられるまちづくりに取り組んでいただきたい。
- 4 自律的で持続的なまちづくりのためには、産業の創出と雇用を生み出すことが必要である。関係機関との連携のもと、野々市市の特徴と強みを生かし、地域経済の活性化を牽引する新たな産業の創出と雇用の場づくりに取り組んでいただきたい。
- 5 行政評価を活用し、この計画の進行管理と施策の評価の徹底を行っていただきたい。